



8月のえんだより



～ ゴマダラカミキリと戦い中です ～

2026年8月1日 十和田めぐみ保育園長

暑い日が続いていますが、子どもたちは汗びっしょりで元気いっぱい過ごしています。

ここ数年、園庭ではカミキリ虫が見つかっていました。もちろん子どもたちは大喜び。しかしこれがなんとツヤハダゴマダラカミキリという外来種の害虫だったのです！樹木に大きな被害を与えるため、環境省の特定外来生物に指定され、全国的に注意が呼びかけられていました。実際に園でも、広場のヘーゼルナッツの木が食害で枯れかけていました。今年は桜や紫ブナの木も食い荒らされています。

そのため、園ではゴマダラカミキリを見つけたら駆除するようにしています。また、おうちへ持ち帰ると繁殖して害が拡大するおそれがあるため、持ち帰りもさせないようにします。リンゴなどの農作物に被害がでることも考えられるそうなのです。

子どもたちが「見つけた虫を持ち帰りたい」という気持ちなのに取り上げて、しかも「処分~~🐞~~」するなんて、なんともかわいそうになるのですが、このことを説明してわかってもらいたいと思います。

子どもたちには「生き物は大切にする」という気持ちを育みながらも、「農作物や園芸の木や花を守ることも大切」であることを伝えていきたいです。難しいですが、自然を大切にすること、それを守るための行動の両方を学ぶ機会にしていきたいと思います。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

さて、厳しい暑さが続くこの時期、園では子どもたちが安全に過ごせるよう、暑さ対策にも力を入れています。暑いときには自分で衣服を脱ぎ着できるよう声をかけ、「自分の体は自分で守る」という意識が育つようにしています。また、職員は温度計を確認しながら室内環境を整え、一人ひとりの様子を丁寧に見守り、体調の変化にも気を配っています。

水分補給はいつでもできるようにしていますが、自由に飲めるだけでは十分な量を飲まないお子さんもいるため、園では時間を決めて麦茶や水を飲む機会も設け、こまめな水分補給を心がけています。

熱中症予防には朝ごはんがとても大切です。先日ご協力いただいた「朝ごはんアンケート」は現在集計中で、保健だよりで結果をお知らせする予定です。「食べてくれず困っている」というお声も寄せられましたが、おすすめメニューや工夫もご紹介いただきました。ぜひ参考にいただき、お子さんが元気に一日をスタートできるよう、引き続き朝ごはんのご協力をお願いいたします。

まだまだ厳しい暑さが続きそうです。園でも引き続き子どもたちの体調管理に努めてまいります。ご家庭で気になることやお気づきの点がありましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。



お知らせ

今月の予定

1日(土) 夏祭り

4日(火) レイン先生との活動(うぐいす)

4日～6日 インターンシップ

(三本木恵拓農業高校)

7日(金) 職場体験(市社会福祉協議会主催)

8日(土) 育児講座

(マーシャさんのロシア料理)

16日(日) 稲生川灯ろう流し

19日(水) 8月のお誕生会

24日(月) レイン先生との活動(ひばり)

26日(水) 萌出先生の科学遊び(うぐいす)

※ 8月中にじゃが芋収穫を予定しています。日程が決まりましたらお知らせいたします

★ 稲生川灯ろう流しのお知らせ ★

8月16日(日)午後7時～「稲生川灯ろう流し」があります。

夏まつりを日中に行うようになってから、園で灯ろう流しができず残念に思っていたところ、3年前から太素顕彰会事務局様から灯ろう流し参加のお誘いをいただいています。

太素顕彰会様が提供してくださる灯ろうと一緒に、クラスで子どもたちが製作した灯ろうも一緒に流して頂けることになっています。

ご家族の願いごとを乗せて夜の川に流れる灯籠の美しい風情を、ご家族皆さんで楽しんでいただけたらと思います。

★参加ご希望の方は、太素顕彰会様からいただいた灯籠キット(クリアファイル)を玄関に置いておきますので、持ち帰り、親子でお絵描きなど楽しんで、8月5日(水)ごろまでに園に持ってきてくださいね。

★ 8月8日(土)～16日(土)の保育について ★

上記期間中のお休み予定調べのご協力ありがとうございました。

回答いただいた調査票をもとに、給食材料の発注や職員の配置をするため、急な登園にはご対応できない場合もありますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、いつもと違う保育士の保育となることもありますので、連絡事項や連絡先の変更などがありましたら詳しく伝えてくださるようお願いいたします。

※今回から、お休み調査の回答を保護者の皆様にも確認していただけるよう、入力したメールアドレスに回答のコピーをお送りしています。

★ 野菜の収穫 ★

今年は暑さのせいか野菜の収穫がゆっくりぎみですが、クラスでお料理をしたり、給食に加えて貰ったりして美味しくいただいています。時にお子様が持ち帰ることもあるかと思うので、ぜひ、お子さんと一緒に、お料理をして一緒に召し上がりながら、栽培や収穫の話題で楽しんでいただけると嬉しいです。

★ 職員異動お知らせ(8月～) ★

・未満児担任の今ユーリヤ先生がだいに異動になりました。

引き続き、マルチカルチャーや育児講座では、通訳等の手助けに来ます。

めぐみニュース

お泊まり保育(7月4日~5日)

期待と少しの緊張を胸に、子どもたちは当日を迎えました。

夕食づくりではこだわりが見られて面白かったです。焼き鳥やオムライス、ポテトサラダなど、今までにないアイデアが出てきて、中にはご家庭でおうちの方と相談しながらメニューを決めてきたお子さんもいましたよ。

当日の午前中は、近くのマエダストアさんへ買い物に出かけました。「これで足りるかな?」「このお肉でいいかな?」と、友達と顔を寄せ合いながら相談したり、店員さんに聞きながら、自分たちで食材を選び、お金を計算しながらなんとかお買い物をしました。思いのほか、しっかりしていて、頼もしかったです。

お昼寝の後にお米をとき、いよいよ調理開始。包丁で野菜を切って炒めたり、味付けをしたりと、みんなで力を合わせて取り組みました。会食の時間には先生たちみんなにもご馳走してくれました。みんな「おいしい!」「おかわりしたい!」と嬉しそうで、自分のグループのお料理を自慢していましたよ。

夜はキャンプファイヤーや花火、夜のお散歩、そして肝試しと、お楽しみが盛りだくさん。たくさん挑戦した子どもたちは、充実した一日を終えてぐっすり眠りにつきました。翌朝は、お待ちかねの流しそうめんや、自分たちで収穫して作ったベリージャムをパンやヨーグルトにかけて美味しく頂きました。最後は毎年恒例の大きなスイカを囲んで記念撮影。この二日間で、友達と協力すること、自分で考えて行動することの大切さを経験し、心も体もひとまわり大きくなったうぐいすさんたちでした。



流しそうめん(7月30日)

お泊まり保育での出来事を、こまどり組やひばり組のお友だちに嬉しそうに話すうぐいす組さん。中でも流しそうめんがうらやましかったようで、「流しそうめんいいな」「やりたいやりたい」と、事務室までお願いに来るほどでした。

子どもたちの思いをかなえてあげたくて、行事との兼ね合いを見ながら日程を調整し、お昼に流しそうめんをしました。今年は、つばめ組の先生が「つばめさんも一緒に参加したいです!」ということで、みんなで流しそうめんを楽しみました。

流れてくるそうめんを食べて「おいし〜」「うめ〜」と笑顔と歓声が上がりました。夢中で追いかけて、口いっぱい頬張りながらも次のそうめんを逃すまいとお箸を構える子どももいましたよ(笑)。

利き手と流れの向きを考えて、捕まえやすい位置に立つことを考える子もいて、面白かったです。夏ならではの楽しい思い出ができました。急なおにぎりをお願いにご協力くださり、ありがとうございました!

虫とのふれあい教室(7月30日)

廊下に展示してある昆虫標本を製作して下さっている竹林さんをお招きし、「虫とのふれあい教室」を開催しました。

子どもたちに本物の虫を見せて触れさせてあげたいという竹林さんのお気持ちで、今回の教室を開いてくださいました。

竹林さんはこの日のために山や沼へ足を運び、珍しいクワガタムシやカブトムシをはじめ、水生昆虫、ザリガニ、カエル、アメンボ、ヒルなど、たくさんの生き物を捕って来て下さいました。さらに実際生息している場所を再現してあげたいと、ガマの穂も取って来て、まるで自然の中にあるような雰囲気をつくって下さいました。まるで水族館のような学習展示でした。

子どもたちは「これは何?」「何を食べるの?」「どこにいる虫なの?」と質問攻めです。知っている虫も、初めて見る虫も、じっくり観察しながら次々と質問し、竹林さんは一つひとつ丁寧に答えてくださいました。気がつけば竹林さんの周りには子どもたちが集まり、すっかり人気者。あっという間の一時間でした。

「自分と同じように虫が好きな子が一人でも増えてくれたら嬉しいです」と言う竹林さん。この日連れてきた生き物たちは、子どもたちに見せた後、すべて元の山や沼へ返しに行かれるそうです。子どもたちに本物の自然と出会う機会を作り、科学の芽を育てるとともに、生き物を大切にすることを行動で示してくださいました。

竹林さん、貴重な時間と心のこもった準備を、本当にありがとうございました。

このような機会を活かして、生き物への興味、関心を伸ばし、科学の芽を培っていききたいです。



かわいいつぶやき

ツヤハダゴマダラカミキリの被害を

受けて、木を守るためにどうしたらよいか考えながら、子どもたちにもその理由を伝えています。

すると、虫探しをしながら「ゴマダラいいかな〜」「ゴマダラ見つけたら先生に教えよう」「ゴマダラ、バラの木を食べちゃうから逃がしちゃだめだよ」と、年長児や年中児が小さい子達に話していました。子どもたちなりに話を理解し、「木を守ることも大切なんだ」と感じてくれているようです。

☆こまどりとひばりの数人が園庭で、

「ワラジだ、ワラジ。ワラジってダンゴの仲間だよ。」

「違う!赤ちゃんってワラジだよ!」

「つかまえてよー」「やった〜!」「先生に見せよう!」「ダンゴゲットした〜!」

ワラジなのかダンゴなのか?通じているようないないような会話ですが、感情は噛み合っていて楽しそうでした。

職員エッセイ つばめ組 池田 萌衣先生

夏になると、各地でお祭りや花火大会が開かれますね。とつてもにぎやかな雰囲気、太鼓や笛の音が聞こえてきたり、色とりどりの提灯や浴衣姿の人を見かけたりすると、「夏が来たな!」と感じます。

私も子どもの頃に何度か秋祭りに参加したことがありました。私が住んでいた地区はお祭りの団体が無かったので、近くの町内会にお邪魔していました。そこで新しい友達とのつながりができたことがとっても楽しかったことをよく覚えています。最近は参加できていませんが、お祭りの楽しそうな雰囲気や、地域の方々が笑顔で集い、みんなで盛り上がる様子を見るのが大好きです。

子どもたちにとつても、お祭りは地域の文化や季節を感じることができる特別な行事です。家族や地域の方とのつながりを通して、楽しい思い出がたくさん増えていくと思います。暑さ対策をしながら、夏ならではの行事をおもいっきり楽しみたいですね!あと1か月で十和田市秋祭りもあるので、つばめ組の子どもたちを連れて山車を見に行くのも、今から楽しみです😊



職場体験・ボランティア

三本木中学校の生徒さんが職場体験「トライやる」活動で来園してくれました。また、夏まつりやインターンシップでは、三本木高校や三本木農業恵拓高校の生徒さんがボランティアとして子どもたちと関わってくださいました。

子どもたちは、お兄さん・お姉さんと一緒に遊ぶことが大好きです。絵本を読んでもらったり、ブロック遊びや鬼ごっこを楽しんだり、たくさん遊んでもらって、「またきて、いつくる?」と、聞いていました。優しく接してもらうことで、子どもたちの中にも「こんなお兄さん、お姉さんになりたい」という憧れの気持ちが育っているように感じます。学生の受け入れは、地域のキャリア教育への協力や実習生の育成だけでなく、職員にとつても学びの機会となっています。卒園児も多く参加してくれていて、成長した姿に会えることを私たちもとても嬉しく思っています。今後も地域とのつながりを大切にしながら、受け入れを続けていきたいと思っています。